

処方水とは

生体中の水分（体液）量は体重の約 60%（体重 10kg であれば約 6ℓ）といわれています。水は体内のすべての物理的、化学的変化の媒体です。脳内から伝達物質が出て神経系、ホルモン系に情報が伝えられるとき、水が伝達物質の媒体となります。情報は伝達物質のほかに電気的、磁気的な形でも伝えられます。水はこの電気的、磁気的な情報を保持して伝える性質があります。これは水の電気双極子の極性の違いや、ミネラル分の磁性媒体などに記憶されるといわれています。

処方水は、身体に必要な情報を水に転写して記憶させたものです。この処方水を飲むことにより身体がもともと健康な時に維持していた状態を情報として捉え直して、自分の力で健康にしていくと考えられています。

そのため治癒に至るまでには、時間がかかります。年齢や免疫力、病態の重症度にもよりますが、最初の変化は、動物が元気になったり、毛艶が良くなったりします。

《飲用に適した水》

定期的にフィルター交換した浄水器の水、軟水のミネラルウォーター

《飲用に適さない水》

水道水、酸性水、逆浸透膜の浄水器の水、硬水のミネラルウォーター、海洋深層水

■通院できない場合

処方水を宅急便でお送り出来ます。処方水が無くなる 2～3 日前には ご連絡ください。その時点で気になっている状態、前回より変化した症状などもお伝えください。（留守電やファックスでも OK です）

■服用時の注意

- ・処方水は必要最少限の服用量を書いています。服用量はお守りください。少ない量を続けていますと、突然症状が悪化して取り返しがつかない事態になってしまうことがあります。
- ・病気の原因の大部分は、持続感染ウイルス（体内から排除するのが、ほぼ不可能）です。処方水の服用を中止すると、以前の症状が再現することもあります。

■保存方法

処方水は冷蔵庫で保存してください。冷たいのを嫌がるようでしたら、人肌くらいに温めてください。

処方水は、体の不調を改善すると同時に、健康寿命を延ばします。

亡くなる少し前まで、普段どおりに行動できることが多いです。